

# 至徳

射水市立金山小学校 学校だより

令和5年4月25日

第2号



## 自然の観察

私は自宅近所の田園地帯をジョギングしたり歩いたりするのが好きです。

春のこの時期、オオイヌノフグリやヒメオドリコソウ、ハルジオン、ヒメジオン、カラスノエンドウ、タンポポ等、実にさまざまな植物が道路脇に咲いています。

歩いていると、どこからともなく草刈りをしたあとや畑を耕した後の匂いがやってきます。水を張り出した田んぼからはカエルの鳴き声。なんともいえない気持ちになります。

ふと横を見ると、ナズナが目に入りました。学級担任をしていた頃、子供たちとこのナズナを使った授業をしたものでした

(以下『』は小谷内の発言「」は子供たちの発言です)

『ナズナの花はどれか分かる?』「分かるよ。簡単!この上にある白いの!」

『そうだね。じゃあ、葉は?』「それも簡単。花の下の方にいっぱいあるよ。」

「あっ、ハートの形をしている!」「めずらしい形だね。」

『確かにめずらしい形だねえ。じゃあ、ハートのずーっと下の方をみてください』

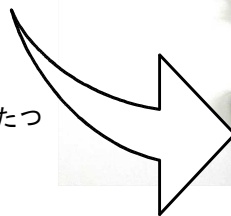
「(しばらくすると) あれ??」「ここにも葉があるよ。」

『どっちが葉なんだろうねえ。』『どっちも』『ハートの葉とギザギザの葉のふたつがあるんじゃない?』

『ふたつとも葉かもしれないね。ハートの葉を半分に割ってみましょうか。』

半分に割ると・・・

「あーっ!種が出てきた!」「葉の中から種が出るなんて、ますますめずらしいよ!」



ここで、子供たちには、“ハート型の葉”のように見えたものが「実」だということを話すと、納得していきます。最後に、ナズナが“ペンペン草”とも言われている話をしました。ハート型の実がついているものを茎から少し剥がし、茎ごと振るとペンペンともベンベンとも聞こえる音遊びをして授業を閉じました。

みなさんもお子さんと一緒に身近な自然の観察を連休中にやってみられませんか。

タンポポの種の標本作りもおすすめですよ。(水気のない乾燥したペットボトル1本とタンポポの綿毛が開きそうなもの一つあれば、すぐにできます。詳しく知りたい方は、小谷内までお声がけください。)

## 金山っ子を守り育てる会の方との対面式 (4.24)

子供たちの登下校を見守ってくださっている金山っ子を守り育てる会の方との対面式を行いました。



野手会長様をはじめ16名の方が来校され、子供たちとの対面式にご参加くださいました。式の中で行ったゲームでは、子供たちと一緒に楽しんでくださいました。



またこの日は、ご都合のつかれる方と一緒に集団下校もいたしました。これからも子供たちをどうかよろしく願いいたします。

## 教材園づくり (4.21, 23)

4月21日に、前PTA会長の山屋さんが教材園を耕してくださいました。

また4月23日にはボランティアグループ「まつたけ」の方がいらっしゃって畝づくりやマルチシート張りをしてくださいました。



今後、生活科や理科で使う野菜や植物を植えて学んでいく予定です。

大変お忙しい中ありがとうございました。

## 学習参観・PTA総会・学年懇談会 (4.22)

4月22日に、今年度初の学習参観を行いました。2～6年生は、新学期がスタートしてから13日目、1年生は入学してから12日目でした。最初こそいつもと違った雰囲気になんか緊張していた子供たちでしたが、やがて表情が和らいでいきました。どの学年も落ち着いて取り組んでいる様子を見ていただけたのではないのでしょうか。



また、体育館で実施いたしましたPTA総会では、新しい役員や事業計画、予算案等が承認されました。総会后に各教室で学年懇談会を行い、学級担任より本年度の教育についての説明をいたしました。

PTA役員の方皆さん、早くから来て準備をしていただき、ありがとうございました。

